



# NISSHA

## 2021年12月期 決算説明会

2022年2月14日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

# 本日のポイント

## 2021年12月期の実績

- 前期比 増収増益
- 営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する利益は過去最高、特別配当
- Tailwinds
  - 上期を中心にIT機器の需要が堅調
  - 非ITの重点市場が着実に成長、事業ポートフォリオの組み換えが進捗
  - 生産の平準化・生産性の改善により収益力向上
- Headwinds
  - 欧米のコスト増（材料費、人件費）
  - 供給制約による需要の減少・後ろ倒し
  - 新型コロナウイルス感染症の再拡大による行動制限

## 2022年12月期の予想（第7次中期経営計画の2年目）

- 非IT市場の成長が継続、持続性が高まる
  - 安定的にキャッシュフローを創出、成長基盤を確立
- コロナ、供給制約など前期の社会情勢が継続しつつも、重点市場でのパイプライン（受注）は堅調に拡大中
- 成長投資（M&A）

# 2021年12月期の実績

# 2021年12月期（通期）の実績

- 産業資材、メディカルテクノロジーが増収を牽引
- 産業資材の生産性改善、デバイスの生産平準化が増益に寄与

(百万円)

	FY2020 実績	FY2021	
		実績	前期比
売上高	180,006	189,285	+5.2%
産業資材	48,858	60,543	✓ +23.9%
デバイス	102,708	96,971	▲ 5.6%
メディカルテクノロジー	20,568	24,176	✓ +17.5%
その他	7,870	7,593	▲ 3.5%
営業利益	7,278	17,363	✓ +138.5%
営業利益率	4.0%	9.2%	+5.2pt
税引前利益	7,039	19,499	✓ +177.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	7,061	15,859	✓ +124.6%
為替レート	¥106/\$	¥108/\$	

# 2021年12月期 Q4（3カ月）の実績

- Q3比：需要減少、供給制約を起因とした生産効率性の低下、欧米のコスト増などにより減益

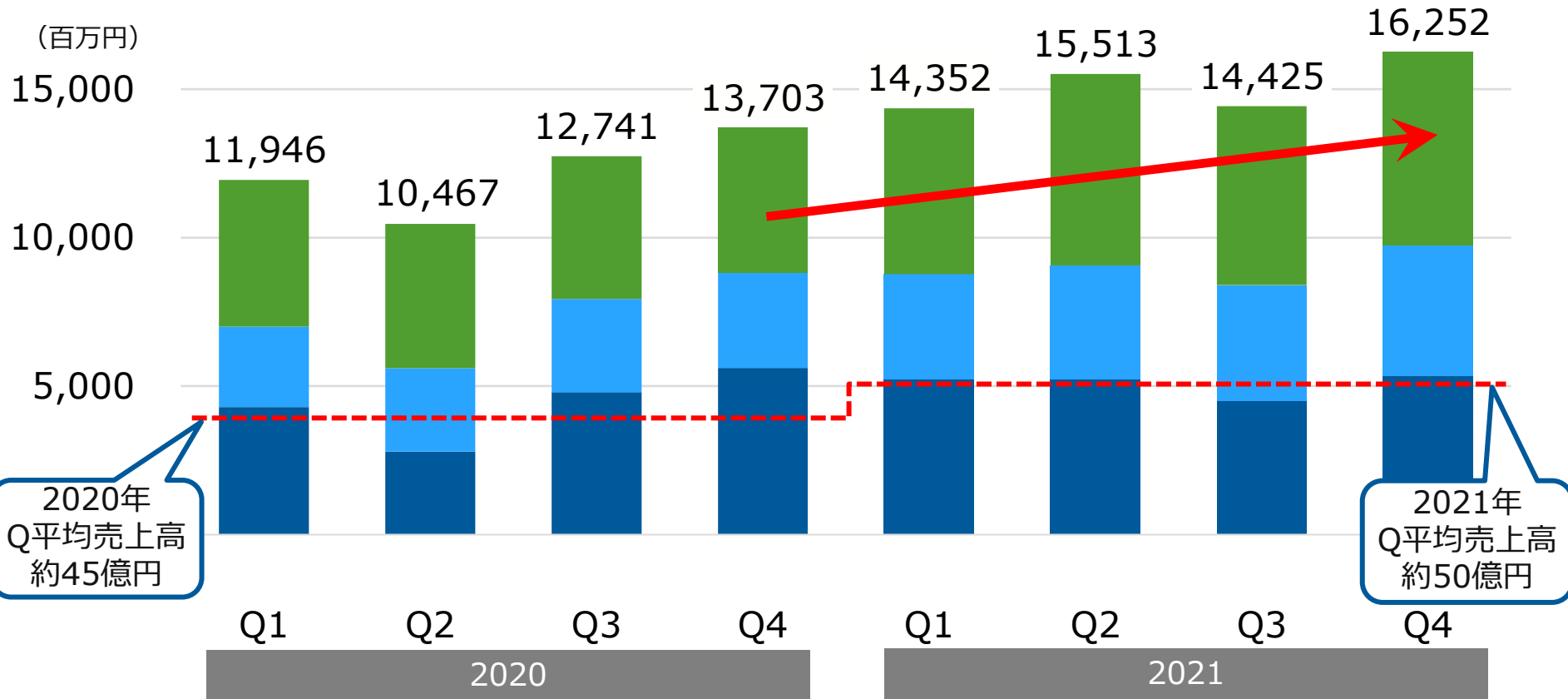
(百万円)

	FY2020 Q4 実績	FY2021 Q3 実績	FY2021 Q4 実績	FY2021 Q4実績	
				前年同期比 (FY2020 Q4比)	前四半期比 (FY2021 Q3比)
売上高	51,221	47,948	43,752	▲14.6%	▲8.8%
産業資材	13,703	14,425	16,252	+18.6%	+12.7%
デバイス	29,965	25,547	18,900	▲36.9%	✓▲26.0%
メディカルテクノロジー	5,213	6,266	6,399	+22.8%	+2.1%
その他	2,338	1,709	2,200	▲5.9%	+28.8%
営業利益	3,383	4,599	1,906	▲43.7%	✓▲58.6%
営業利益率	6.6%	9.6%	4.4%	-2.2pt	-5.2pt
税引前利益	3,138	4,679	2,581	▲17.7%	▲44.8%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	3,013	3,917	1,327	▲55.9%	▲66.1%
為替レート	¥104/\$	¥109/\$	¥111/\$		

# 産業資材

- 加飾（モビリティ）とサステナブル資材（蒸着紙）が増収を牽引

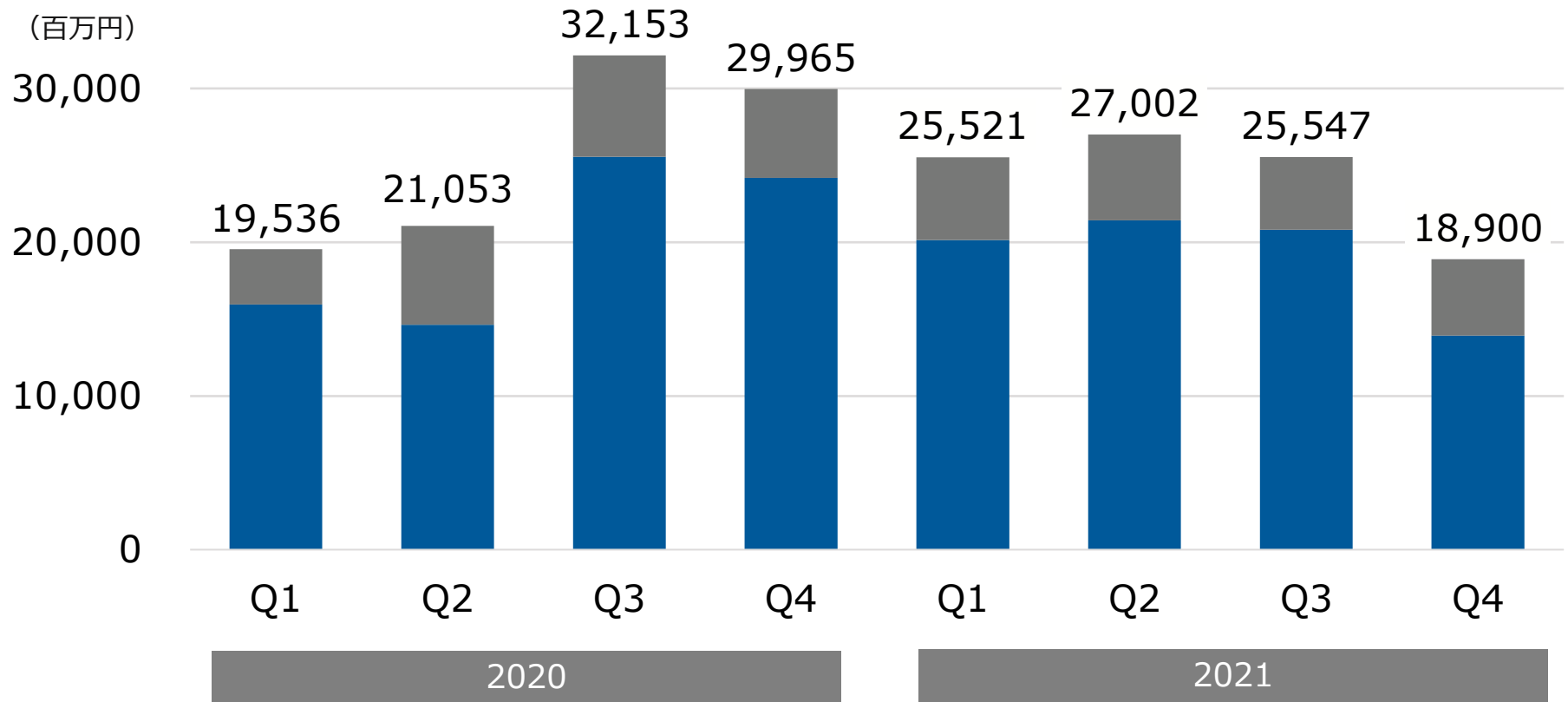
- サステナブル資材（蒸着紙）
- 加飾（その他）
- 加飾（モビリティ）



# デバイス

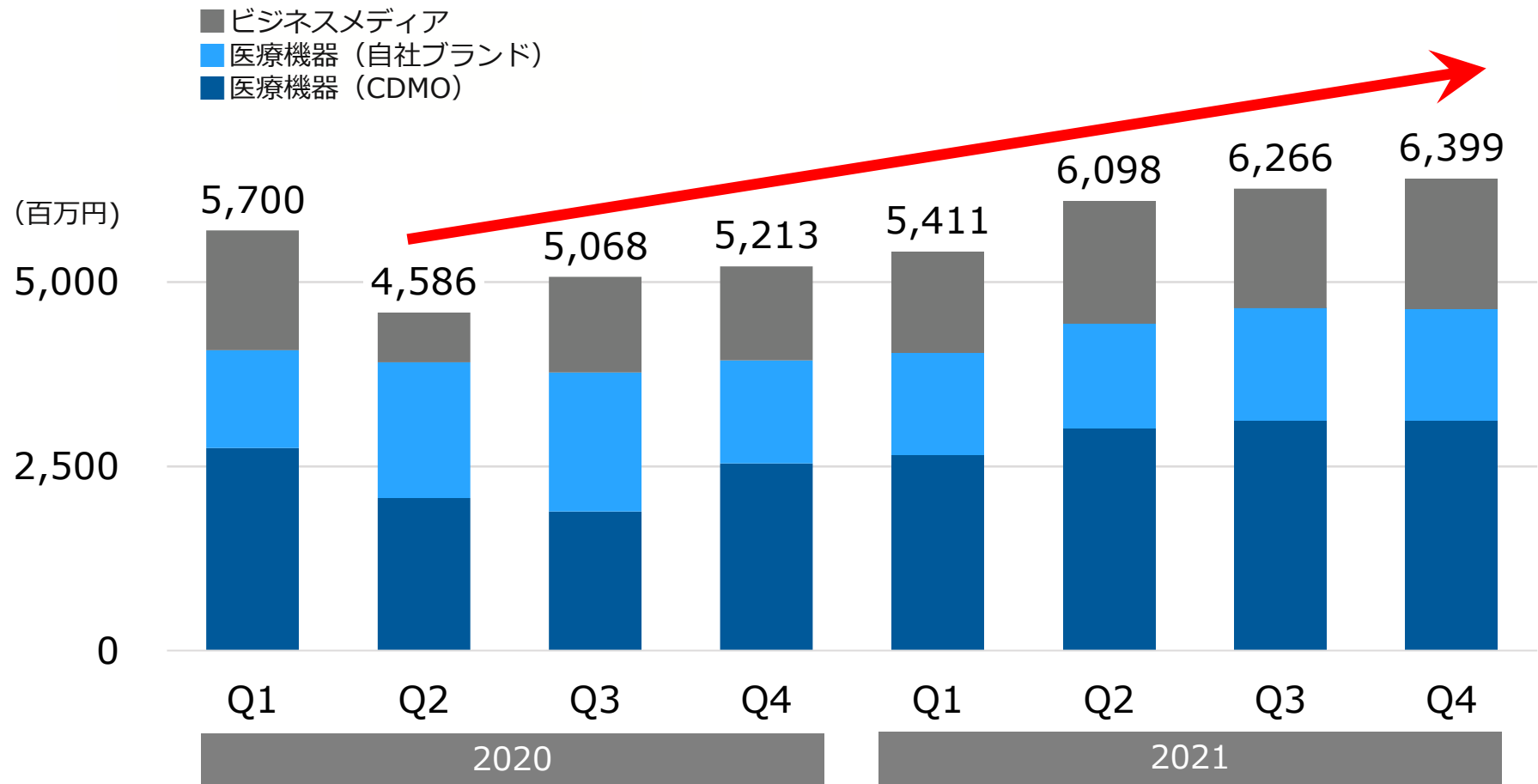
- Q4のスマートフォン向けの需要減少は想定通り

■ ゲーム機・産業用端末（物流関連）・モビリティ向け、ガスセンサーなど  
■ タブレット・スマートフォン向けなど



# メディカルテクノロジー

- COVID-19からの回復基調が継続





# 第7次中期経営計画の見通し (2021-2023)

# 第7次中期経営計画の重点市場

## 非IT

## IT

### 重点市場

医療機器



モビリティ



サステナブル資材



IT機器

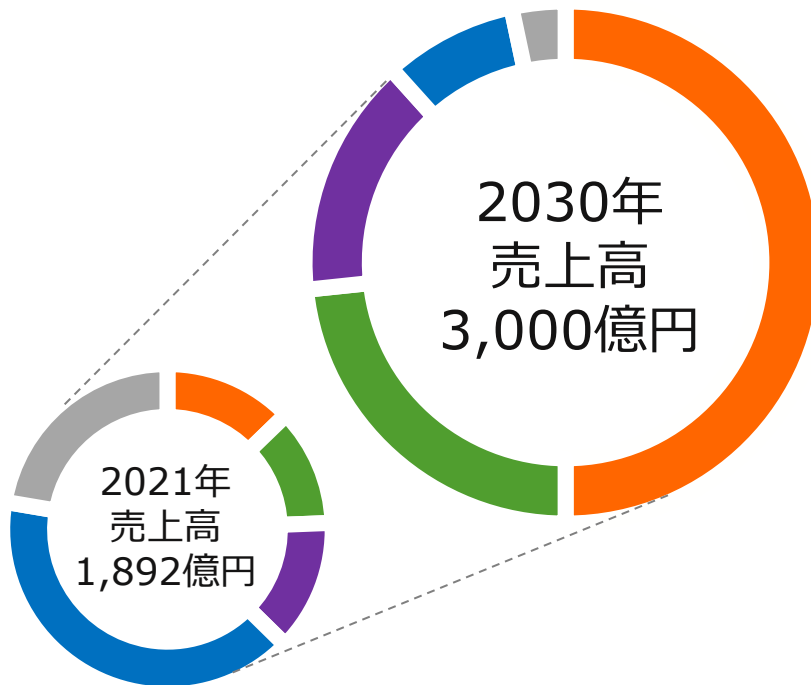


- 医療機器CDMO分野の拡大
- モビリティ、サステナブル資材の成長
- 重点市場でM&Aを実行

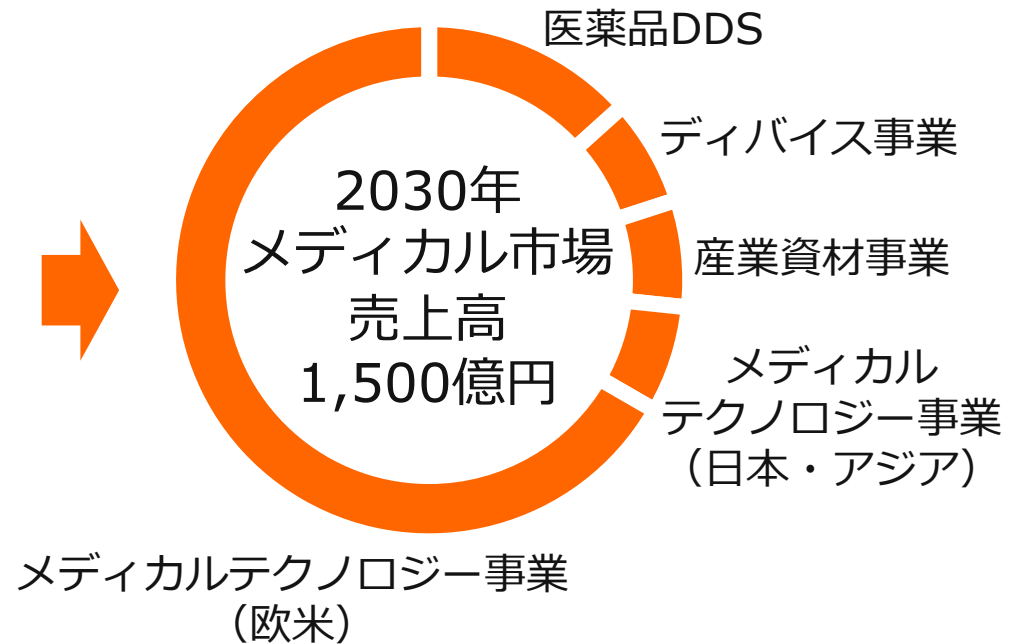
- 規模よりも収益性を重視

# サステナビリティビジョン 全社を挙げて「メディカル市場」に挑む

＜対象市場別内訳＞

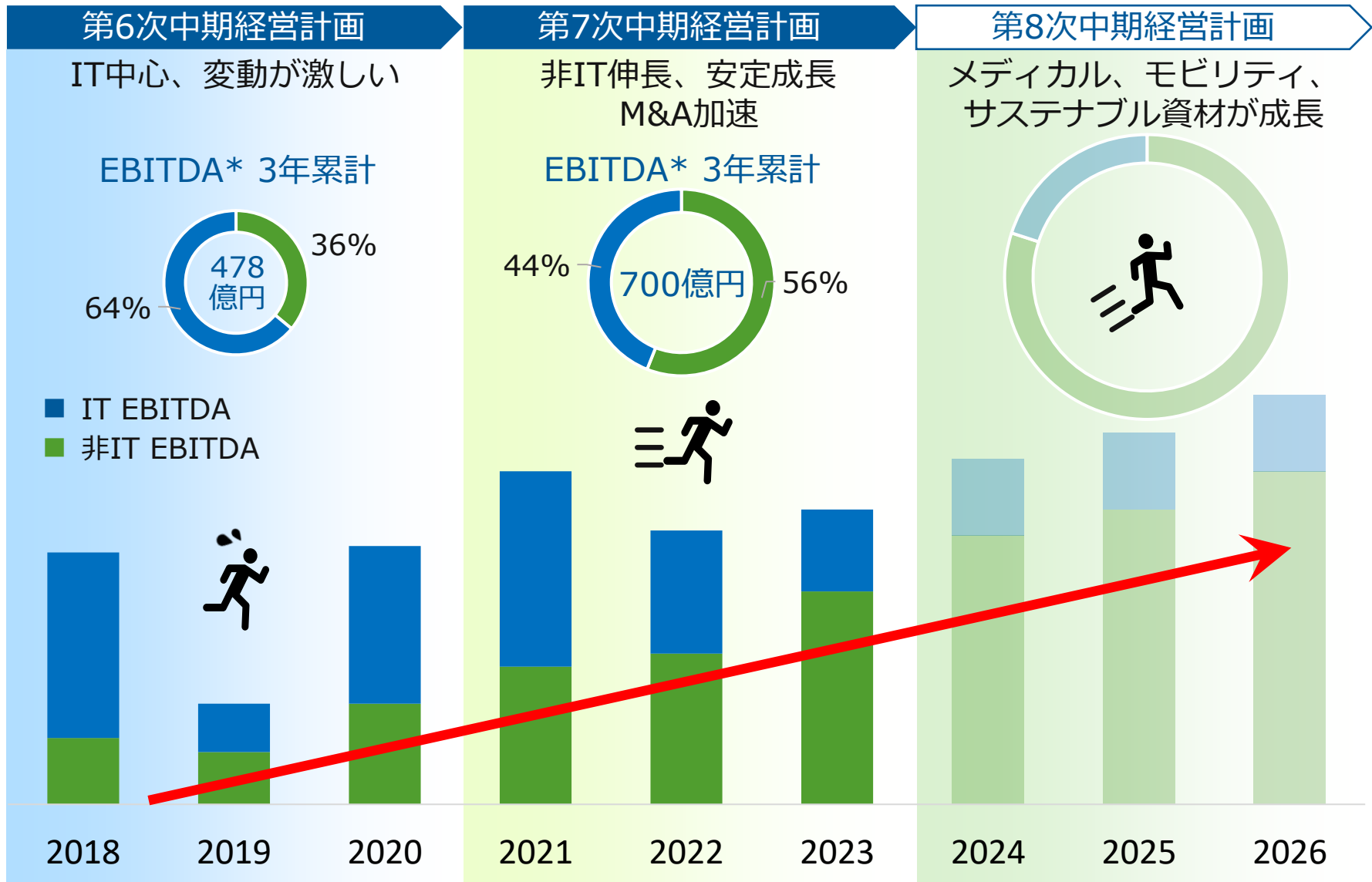


＜メディカル市場 事業別内訳＞



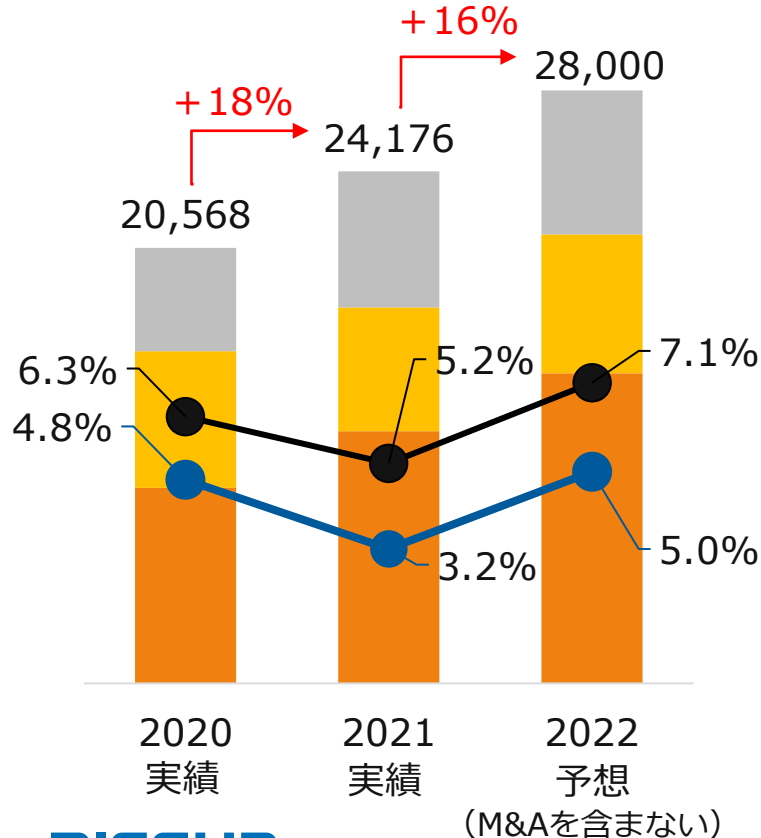
メディカル市場=医療機器、関連製品・部品、ヘルスケア製品、医薬品DDSなど

# キャッシュ創出がITから非ITに



# メディカルテクノロジー 医療機器CDMOが成長を牽引

- ビジネスメディア売上高 (百万円)
- 医療機器 (自社ブランド) 売上高 (百万円)
- 医療機器 (CDMO) 売上高 (百万円)
- 営業利益率 ● 営業利益率 (日本費用を除く)

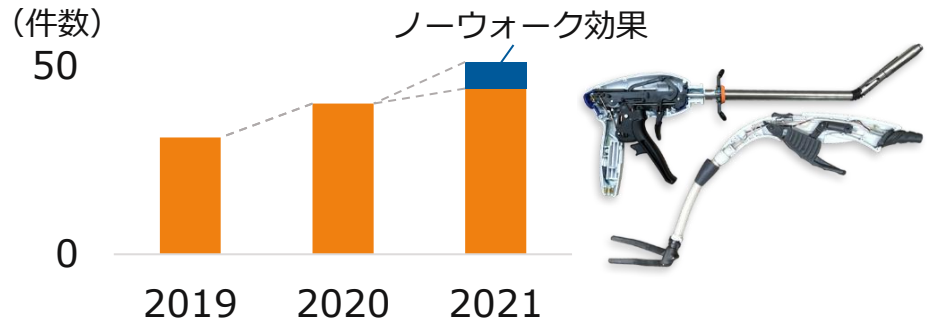


## これまでの進捗

- COVID-19の影響から需要回復

## 2022年のポイント

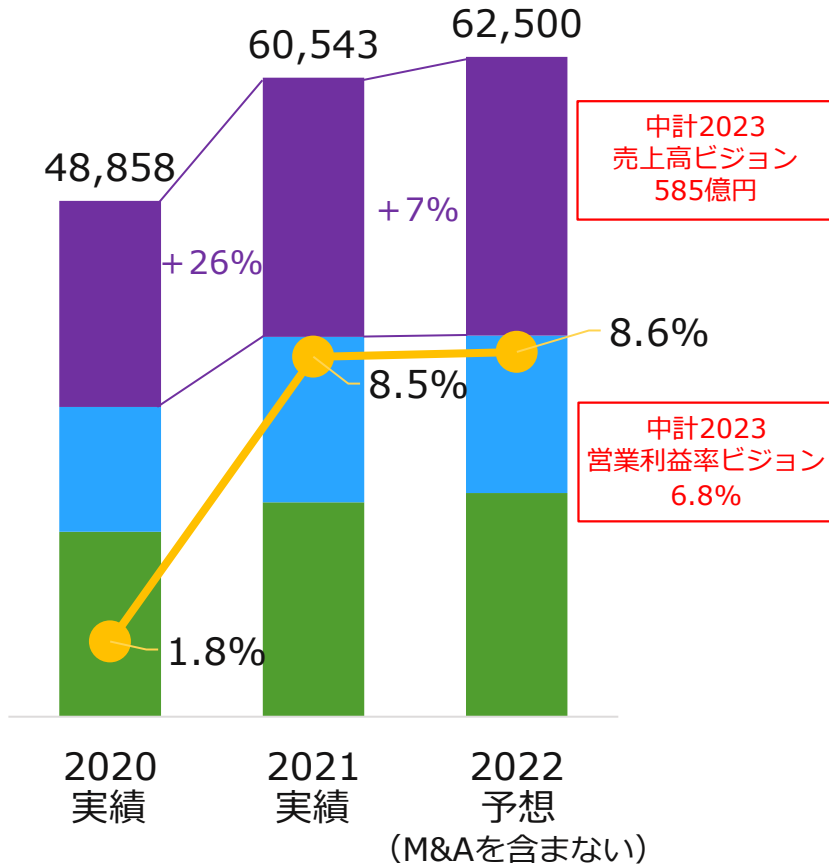
- 医療機器CDMOの市場成長率 (11.0%\*) を超える増収率が継続
- 原材料価格の高騰を受け製品価格に転嫁、収益性を改善
- M&Aで成長加速
- 新規開発の案件数が増加 (既存+ノーワーク効果)



\*出所: Transparency Market Research 「Medical Device Contract Manufacturing Market」に基づき当社調べ

# 産業資材：サステナブル資材の成長が継続 中計当初計画（2023）を上回るペースで進捗

- サステナブル資材売上高（百万円）
- 加飾（その他）売上高（百万円）
- 加飾（モビリティ）売上高（百万円）
- 営業利益率

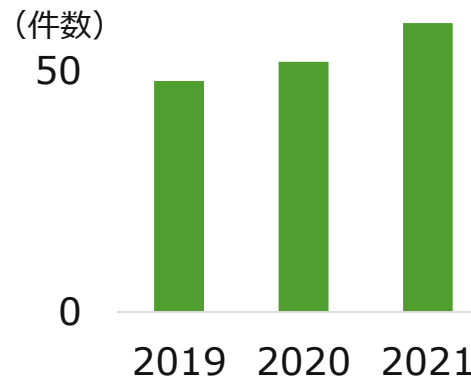


## これまでの進捗

- 収益性が大幅に改善
- 中期経営計画1年目で中計の定量ビジョンを達成
- 蒸着紙の市場シェアを拡大

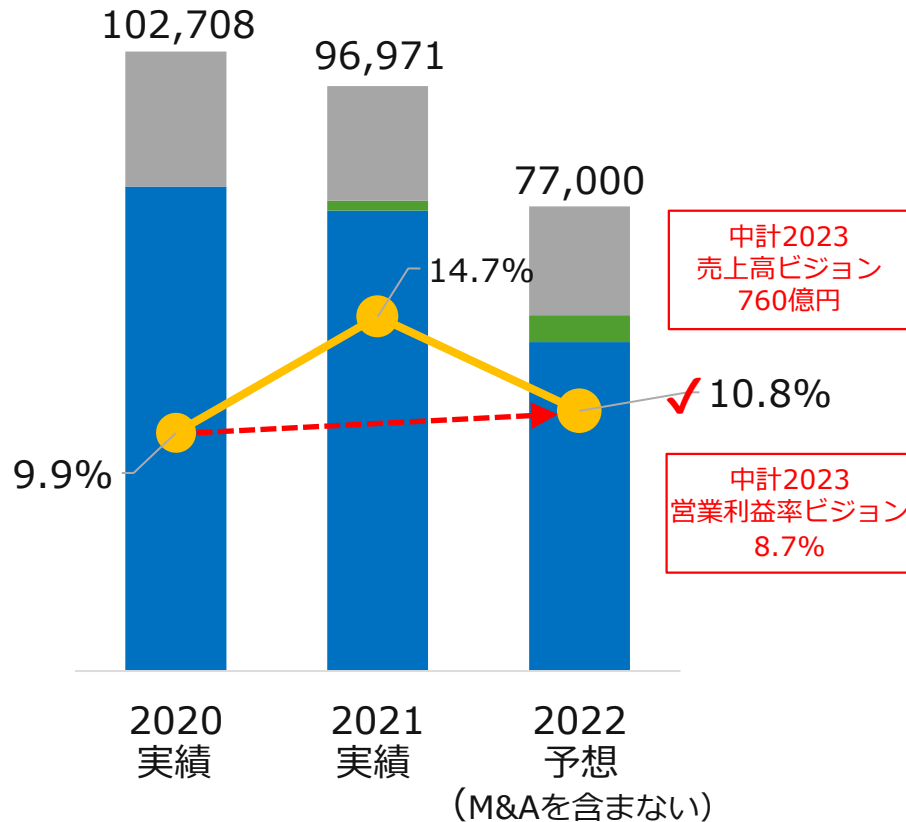
## 2022年のポイント

- 成長基調を継続、収益性を維持
- サステナブル資材：事業成長を牽引
  - 蒸着紙：価格改定を実施
  - サステナブル成形品：脱プラスチックのトレンドを受け、受注拡大
- モビリティ：受注件数が堅調に増加



# デバイス スマートフォンの減収下で収益性を維持

- タブレット・スマートフォン向けなど売上高（百万円）
- モビリティ向け売上高（百万円）
- ゲーム機・産業用端末（物流関連）向けなど売上高（百万円）
- 営業利益率

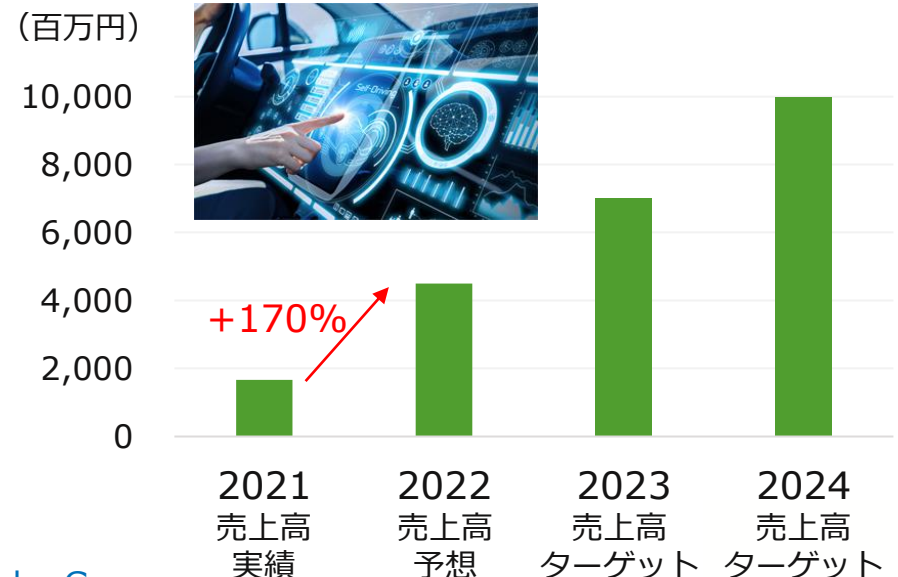


## これまでの進捗

- 生産の平準化により収益性が大幅改善

## 2022年のポイント

- 減収下でも収益性を維持、営業利益率は10%超
- タブレット、産業用端末（物流関連）は安定推移
- モビリティ向けタッチセンサーが急拡大、2024年に年間売上高100億円を目指す



# 重点市場における注力分野

## メディカル

- CDMOを拡大
  - 医療機器：低侵襲医療用の手術機器、患者のモニタリング機器
  - 医薬品DDS：フィルム製剤

## サステナブル資材

- 蒸着紙の用途開発（飲料から食品などへ）
- サステナブル成形品の拡大（医薬品向けパッケージなど）

## モビリティ

- 外装加飾分野に進出
- CASE対応のセンシング成形モジュール



# キャッシュアロケーション（3年間累計）のアップデート キャッシュインが増加する見通し、M&A投資を加速

## キャッシュイン



## キャッシュアウト



## キャッシュイン

- 営業CF
- 政策保有株式の縮減

## キャッシュアウト

### 成長投資

- M&A 250億円～
  - メディカル分野中心
- 設備投資 200億円
  - 成長投資
  - 合理化投資

### 株主還元

- 安定配当を継続
- 機動的な自社株買い

### 財務の健全化

- 有利子負債の圧縮

## 2022年12月期 業績予想

(百万円)

	FY2021 通期 実績	FY2022 通期 予想	FY2022		前期比
			FY2022 H1 予想	FY2022 H2 予想	
売上高	189,285	175,500	83,500	92,000	▲7.3%
産業資材	60,543	62,500	30,500	32,000	+3.2%
デバイス	96,971	77,000	35,400	41,600	▲20.6%
メディカルテクノロジー	24,176	28,000	13,700	14,300	+15.8%
その他	7,593	8,000	3,900	4,100	+5.4%
営業利益	17,363	11,500	4,400	7,100	▲33.8%
営業利益率	9.2%	6.6%	5.3%	7.7%	-2.6pt
産業資材	5,161	5,400	2,500	2,900	+4.6%
デバイス	14,242	8,300	3,200	5,100	▲41.7%
メディカルテクノロジー	776	1,400	600	800	+80.2%
その他	▲ 2,818	▲ 3,600	▲ 1,900	▲ 1,700	-
税引前利益	19,499	11,000	4,200	6,800	▲43.6%
親会社の所有者に帰属する 当期（四半期）利益	15,859	7,800	3,000	4,800	▲50.8%
為替レート	¥108/\$	¥113/\$	¥113/\$	¥113/\$	-

# サステナビリティへの取り組み

# 気候変動への対応

- 2030年に向け、CO2総排出量を30%削減（2020年比）
- 2022年の費用：2.5～3億円（年間）

- ナイテック工業の再エネ化
  - 産業資材事業の国内生産工場
  - 100%再生可能電力に転換（2022年）
- ナイテック・プレジジョン・アンド・テクノロジーズの再エネ化
  - デバイス事業の国内生産工場
  - 一部再生可能電力に転換（2022年）



ナイテック工業  
甲賀工場



ナイテック・プレジジョン・アンド・テクノロジーズ  
加賀工場

- TCFD提言への賛同を表明（2022年1月）
  - 今後は気候変動に関する機会とリスクによる財務的影響を分析・開示

**TCFD** | TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

# 社員エンゲージメントの向上

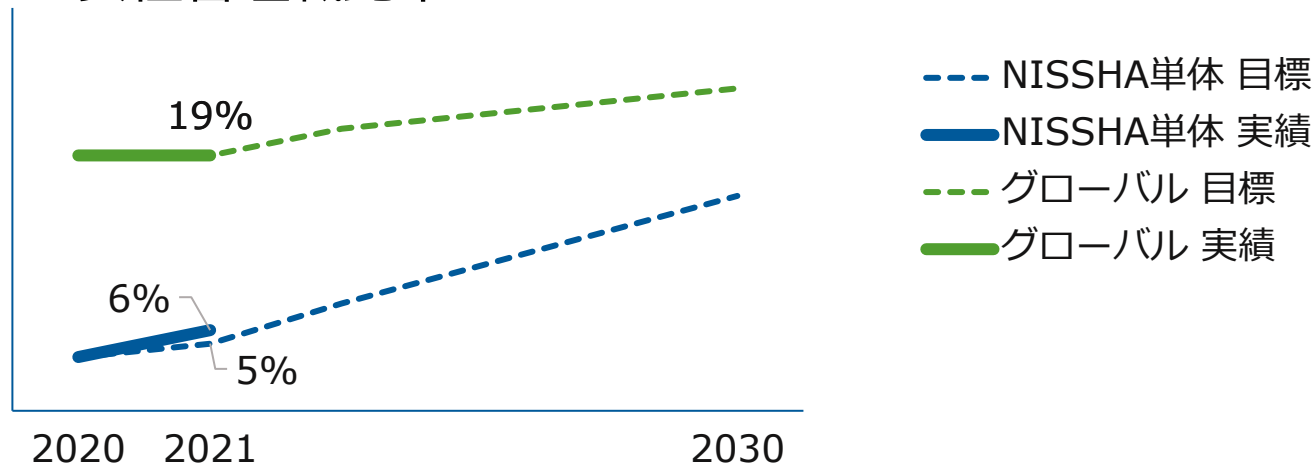
- ジョブ型の人事制度を導入（2020年～）
- 事業ポートフォリオの組み換えに沿ったリスキリングがスピードアップ
  - Nissha Academy「重点市場スキル研修」を増設



2013年創設

## ● ダイバーシティの進展

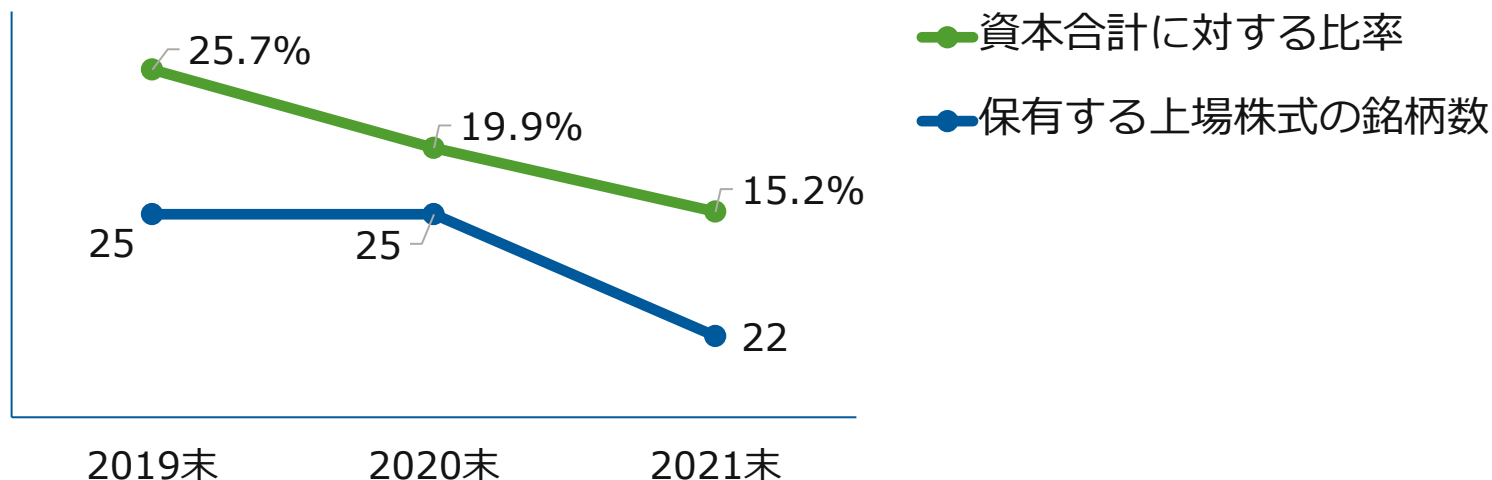
- 女性管理職比率



## 取締役会スキルマトリックスを再定義

- サステナビリティビジョン・中期経営計画の達成に向け、取締役会に必要なスキルを追加（2021年10月 公表）
- 医療機器市場の専門性と国際的な経験を有する社外取締役を新たに選任予定（2022年3月23日 定時株主総会）

## 政策保有株式の縮減



# (参考) ESGに対する当社外部評価

- FTSE Blossom Japan Index

- 2年連続で選定



FTSE Blossom  
Japan

- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

- 2021年3月時点



- SOMPO サステナビリティ・インデックス

- 2012年より連続



- 健康経営優良法人に選定

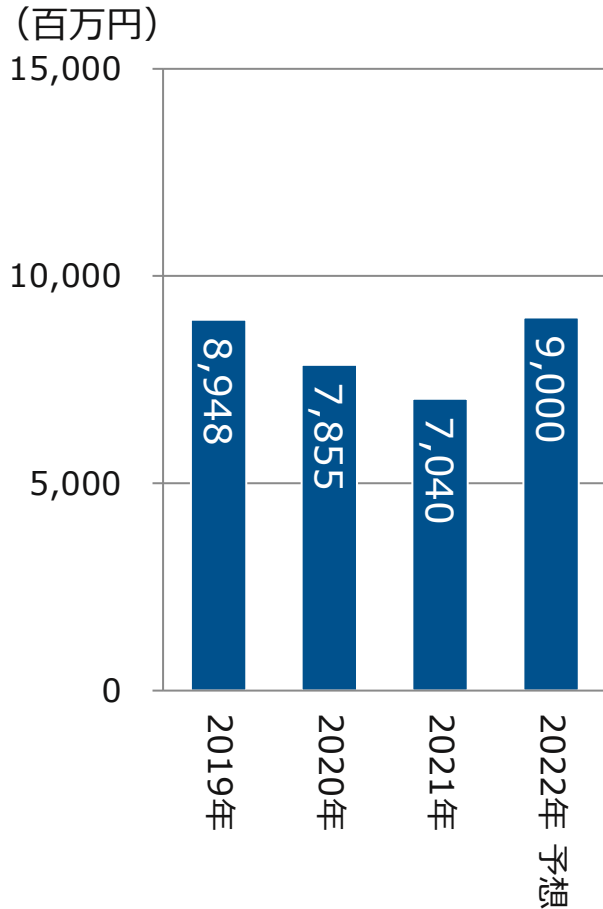
- 2022年



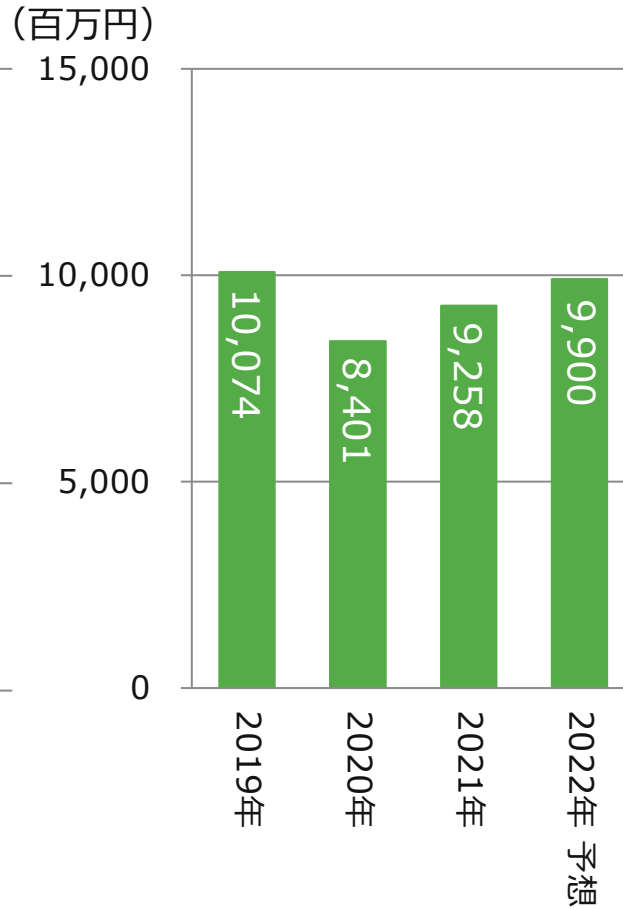
健康経営優良法人  
Health and productivity

# (ご参考) 設備投資・減価償却費及び償却費・研究開発費

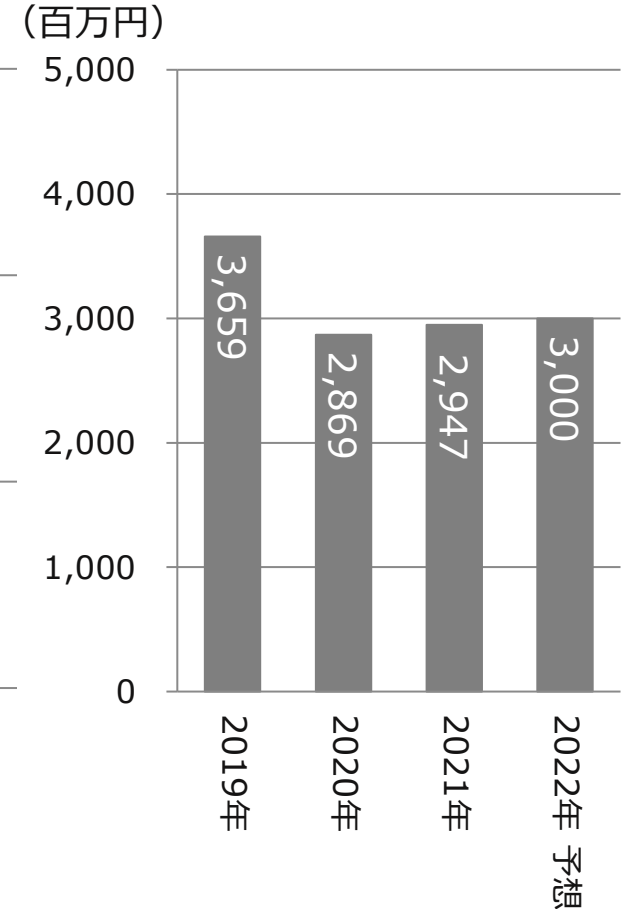
## 設備投資



## 減価償却費及び償却費



## 研究開発費





# (ご参考) 設備投資・減価償却費及び償却費・ M&A投資・研究開発費 (2021年)

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績	第4四半期 (10-12月) 実績
設備投資	1,038	3,068	1,203	1,729
減価償却費 及び償却費	2,301	2,295	2,282	2,379
M&A投資	-	-	-	-
研究開発費	677	714	721	834

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。